

有限会社 日本海開発 環境行動計画

平成21年 4月 6日

取組方針

有限会社日本海開発は、「人と環境の未来を考える」を基本理念にいしかわ事業者版環境 ISO マネジメントシステムを構築しお客様から満足の得られる製品・商品・サービスを提供します。

「環境を守り創る時代・21世紀を生き抜く地域社会を目指す」を基本理念に環境経営の重要なテーマである「地球温暖化の防止」「廃棄物の適切な処理、リサイクル化」を目指します。また、法令・規制要求事項・社会的モラルを順守する他、社内業務は継続的改善に努めます。企業の社会的責任（CSR）、事業活動が生み出す社会的、経済的価値を重視し企業活動（社会貢献・環境対策・経営基盤の確立・法令順守）に全社員一丸となって取り組みます。

- ① 事業運営にあたっては、P：計画、D：実施、C：チェック、A：見直し、目標達成のマネジメントサイクルを目指します
- ② 石川県が計画する「エコライフ大作戦」（事業所版、家庭版）に積極的に参加します
- ③ 事業活動の中で、省エネルギーと省資源、リサイクルに努めます
- ④ 廃棄物処理法、マニフェストの最終確認、車両の重量規制の順守に努めます
- ⑤ 二酸化炭素排出削減に最大限努めます（目標3%/年間）

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組む他当社業務で知り得た個人情報には当社個人情報保護方針に従い順守します。取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員・利害関係者に周知し社内外に公開します

平成21年 4月 6日

有限会社 日本海開発
代表取締役社長 主村 眞吾

3 環境負荷の低減目標

平成 22 年度に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。平成 22 年度末低減目標は 6%、平成 21 年度末低減目標は 3%とする。（低減目標の基準年度は、いずれも 20 年度です。）

【目標 1】 二酸化炭素の総排出量を 6%削減する



【目標 2】 コピー用紙の使用量を 6%削減する



【目標 3】 水使用量を 6%削減する



【目標 4】 BDF 使用料を 10%増加する



4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組 1】 二酸化炭素排出量の削減

(山口工場)

- ・ 昼休みの休憩時間、作業終了後は速やかに消灯する
- ・ 廃棄物の削減と再利用に努めます（コピー用紙裏面使用）
- ・ 社用車の効率的な使用（運転経路、相乗り）を徹底する
- ・ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける
- ・ 車の空調温度を適正温度に設定する
- ・ 休日前はパソコン、OA機器の電源を切る
- ・ 車両の走行距離とガソリン使用量を測定する（エコドライブ実践教育）
- ・ 作業効率の改善により残業時間を少なくする

(事務・総務部門での取組)

- ・ 事務室の空調温度を適正（冷房時 28 度、暖房時 20 度）に設定する
- ・ 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する
- ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用する

【取組 2】 コピー用紙使用量の削減

- ・ 両面コピーを徹底する
- ・ 使用済み用紙の裏面を利用する（メモ用紙として使用する）
- ・ 書類、資料の電子データ化を進める

【取組 3】 水使用量の削減

- ・ 配管からの漏水を定期的に点検し、水圧の必要ない手洗い所は、水圧を低くする

- ・ 手洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する
- ・ 洗車用のホースに手元コックを取り付ける
- ・ 水道蛇口に節水こまを設置する

5 環境行動計画の実施体制

最高責任者を委員長とする環境活動委員会（ISO推進部）を設け、半年毎に取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。

日本海開発本社と山口工場 ISO組織図

